

特集

# 万全ですか、災害への備え ～台風第9号・10号を教訓に～

9月初旬、台風第9号と10号が立て続けに平戸市に襲来。  
9号通過後には、10号に備える市民の姿が多く見られました。  
いつ発生するかわからない災害。いざという時の備えは万全ですか。



2



4



3



5



1

1\_台風第10号の強風によって全壊した水産加工会社の加工場兼倉庫(岩の上町) / 2\_強風によって飛ばされた自動販売機の雨よけ(紐差町) / 3\_倒木が道をふさぎ、通行できなくなった道路(大志々伎町) / 4\_民家の瓦が強風でめくれ上がる被害も発生(川内町) / 5\_松浦鉄道の西田平駅。強風により外れ、下に落下した看板(田平町)

立て続けに接近した2つの台風

9月初旬、立て続けに平戸を襲った2つの台風。3日の夜に平戸市に最接近した台風第9号は、大潮の満潮時と重なり、川内郵便局付近の国道が冠水し、一時、全面通行止めとなったほか、漁港では係留した船が転覆するなどの被害が出ました。

その後、台風第10号が接近。市では、6日午前11時に市内全域に警戒レベル4に相当する「避難勧告」を発令。避難勧告発令後、順次、避難所が開設されました。夕方ごろから徐々に風が強くなり、台風が最接近した7日午前3時47分には、最大瞬間風速42.8メートルの猛烈な風を記録しました。

幸いにもこの2つの台風では、人的被害はありませんでしたが、市内全域で猛烈な風によってさまざまなものが倒され、平戸大橋、生月大橋の全面通行止め、長時間の停電、電話の不通など市民の生活に大きな影響を与えました。

**台風第9号で「備え」の大切さを再認識**

「最大級の警戒を」。気象庁は記者会見で、台風第10号について特別警報級の勢力まで発達し、記録的な大雨や暴風、高波、高潮となる恐れがあるとして、このように呼びかけました。

台風に備えるため、スーパーやホームセンターには、水や非常食、生活必需品を買い求める人が多く押し掛け、強風で建物の窓ガラスが飛散するのを防止するため、養生テープなどで補強する住宅が多く見られました。

避難勧告発令後、市が開設した指定避難所や福祉避難所、自主避難所には約3,200人が避難。この他にホテルなどの宿泊施設に避難した人もおり、「備える」ということが再認識されたように思います。

**今後も十分な「備え」を**

10月以降も台風が発生する恐れがあります。また、地震や大雨など台風以外の災害の可能性も否定できません。特に地震や大雨などは、突発的なものでいつ起こるかわかりません。そのため、日ごろから、災害を想定し備えておくことが、いざという時に自分や家族、身の周りの人の命を守るにつながります。

## 台風、大雨、地震 災害に関する市からの お知らせを確認しましょう

平戸市では、警報などの発令や避難所設置情報、そのほかの災害に関する情報について、下記の方法で発信しています。

### 平戸市防災メール



市からの災害に関する情報や行政情報を発信。  
左のQRコードもしくは下記のURL(防災ホームページ)から登録できます。

URL <http://www.bousai.city.hirado.nagasaki.jp/mail/index.html>

### 平戸市防災ホームページ



災害に関する情報や気象情報、防災に関する情報、ハザードマップや避難所一覧表などを公開。  
スマートフォンやタブレットにも対応。

URL <http://www.bousai.city.hirado.nagasaki.jp/index.html>

### 平戸市公式SNS(ツイッター・フェイスブック)



@HIRADOCity



@hiradocity

防災メールで発信した内容をのほか、平時はイベントなどの平戸市に関するさまざまな情報を発信。  
この機会にフォローをお願いします。

### 防災行政無線



市内の各地区に設置された防災行政無線のスピーカーから、災害に関する情報や行政情報を放送。

## 新しいハザードマップを配布予定



市では現在、最新のハザードマップを作製中です。令和2年度中に、各世帯へ配布を予定しています。

マップには、「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の恐れがある土砂災害危険箇所を確認できます。

### 情報を手に入れる

市では、気象警報や通行規制情報、避難所の開設状況などについて、防災メール、市防災ホームページ、公式SNS、防災行政無線で発信し

のリスクがあるか知っていますか。市が作成したハザードマップには、想定される被害が区域によって分けられています。自分の住む地域にどのような災害のリスクがあるのか把握し、家族の状況を踏まえどんな避難がベストか考えてみましょう。

### 行動する

どの避難所が開設されているか確認  
市ではあらかじめ、災害時の避難

ています。特に現在、生月大橋は斜面崩壊の可能性があるため、通行止めとなる場合があります。情報を持っていることは、次にどう行動すべきか考えるヒントになるとともに、精神的な不安の軽減にもつながります。

場所を「指定避難所(避難場所)」として指定していますが、災害が予想される場合に、すべての指定避難所が開設されるというわけではありません。実際には、災害の特性に応じて、指定避難所の中から必要な避難所が開設されます。開設する避難所は防災メールなどでお知らせしますので、警戒レベル情報とあわせて確認しましょう。  
そのうえで、周囲の状況や避難所の開設状況などを踏まえ、どのように避難すべきか判断し、行動することが重要です。

# 備える・知る・行動する 予期せぬ災害から命を守るために

災害を完璧に予想することはできません。いつ災害が起きても命を守れるよう、災害が起こった時のことを想定し、日ごろから備えておくことが重要です。「備えあれば憂いなし」日ごろの備えが無駄になることはありません。

## 備える

予測できないからこそ備えを

災害はいつどこで起こるかわかりません。災害が起こるたびにニュースなどで流れる被災地の光景は、明日の平戸の光景かもしれません。予測できないからこそ、日ごろから備えておかなければなりません。

必要なものは非常用持ち出し袋に

非常用持ち出し袋は、今すぐ避難しなければならぬ状況で、持ち運んで逃げるために必要最低限のものをに入れておくものです。寝室や玄関など持ち出しやすい場所に置いておき、運ぶ人に合わせて大きさや重さを合わせることで大切です。避難の際に、何がないと困るのか想像しながら準備してみましょう。

## 知る

ハザードマップを確認

自分の住む地域にどのような災害

## Check! 非常用持ち出し袋を準備しよう

非常用持ち出し袋の中には、避難先で1~2日生活するための必要な食料品や日用品を入れておきましょう。下記のチェックリストを参考に準備しましょう。

- 水、食料品(ごはん、レトルト食品、乾パン)
- ピニール袋
- 救急セット(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ティッシュペーパー、トイレトペーパー
- 除菌ウェットシート
- 使い捨てカイロ
- ライター
- 簡易トイレ
- 乾電池
- 現金・小銭
- 地図
- 懐中電灯(手動充電式)
- 携帯ラジオ(手動充電式)
- 歯ブラシ/歯磨き粉
- 毛布/防寒具

### 感染症への備えとして

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- せっけん、ハンドソープ
- 体温計

※乳児がいる世帯は粉ミルクやおむつなど、女性は生理用品など、必要に応じて準備しておきましょう。



## 避難先の新たな選択肢として

「ホテルだから対応できたこともある  
今回の台風第10号で見た課題を踏まえ  
避難のための宿泊客の受け入れ体制を整えたい」

ホテル彩陽 WAKIGAWA

支配人

小畑 和子さん

台風の中でホテルとして快適なサービスを提供するため、水や氷などの備蓄の準備や停電時の対応の確認、出勤するスタッフの調整を進めました。停電時の対応として、宿泊客から問い合わせがあった際には、うちわやライトなどを持参するよう呼びかけ、チェックイン時にも、エレベーターの使用を控えるように依

当ホテルには、台風第9号が過ぎ去った翌日から、10号に備えて避難したいとの問い合わせが多数あり、34室すべての客室が避難のための宿泊客で埋まったほか、ロビーなどの客室以外も避難場所として提供したので、すべて合わせると100人近い人が宿泊しました。満室後も問い合わせは続きましたが、130件近い問い合わせをお断りしました。このようなことは今までで一度も経験がありません。宿泊客からは「台風第9号は家が揺れるほど強い風が吹いた。大変恐い思いをした」という声も聞かれ、10号はさらに勢力が強くなると予想されていたため、このように多数の問い合わせが来たのではないかと思います。台風の中でもホテルとして快適なサービスを提供するため、水や氷などの備蓄の準備や停電時の対応の確認、出勤するスタッフの調整を進めました。停電時の対応として、宿泊客から問い合わせがあった際には、うちわやライトなどを持参するよう呼びかけ、チェックイン時にも、エレベーターの使用を控えるように依

頼しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止についてのチラシを配布し、必ず目を通してもらうよう工夫を図りました。今回の台風第10号では、日ごろから、宿泊業を営むに当たり課せられている衛生管理や設備点検管理を徹底していたことで、安心安全な環境を提供することができました。しかし、課題も見つかったため、今後、発生するかもしれない災害に備えて、受け入れ体制の充実を図っていきます。



上\_フロントには飛沫防止のアクリルの板を設置/左\_ホテル入り口には、消毒用ジェルと非接触型の体温計

## 台風被害に対する弔慰金および見舞金

先月の台風で被害にあった個人または住んでいる建物に対し「平戸市小災害り災者に対する弔慰金および見舞金支給要綱」に基づき、右の表のとおり弔慰金および見舞金を支給します。支給には、災証明書などの確認書類が必要になりますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

☎ 福祉課総務班 ☎22-9130

弔慰金	主として生計を維持していた死亡者1人につき	200,000円	
	その他死亡者1人につき	100,000円	
見舞金	世帯構成	全壊・全焼・流出	半壊・半焼
	1人世帯	15,000円	10,000円
	2人世帯	20,000円	14,000円
	3人以上1人を増やすごとに加算	6,000円	5,000円

【台風第10号での避難者数】

避難所区分	人数
指定避難所・避難場所	2,770人
福祉避難所	69人
自主避難所	371人
合計	3,210人

指定避難所として開設された文化センターには、約280人が避難しました。



## コロナ禍における避難

### 分散避難で感染を防ぐ

いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症。多くの避難者が集まる避難所には感染リスクが潜んでいます。感染症拡大を防ぐための新たな避難のあり方とは。

#### 「3密」の条件が揃いやすい避難所

台風第10号の接近に伴い開設した避難所では、予想をはるかに超える避難者が詰めかけ、一部の避難所では、別の避難所に移動をお願いする事態となりました。災害時には、今回のように多くの避難者が集まることが予想されます。そのような中、これまでと同じ避難のあり方では、「3密」の条件が揃いやすくなり、断水が起こった場合、手洗いなどが十分にできず、さらに感染リスクが高まります。

今後は、感染リスクがあることを念頭に置き、感染症対策を万全にしたうえで、避難することが重要になってきます。

#### 避難先を再検討

避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、その場にとどまるという選択もあります。市が作成したハザードマップを確認し、自宅が浸水や土砂災害の危険性がない場所にある人で、自宅での安全を確保できる場合は在宅避難を検討することも重要です。

自宅が危険な場所にある場合は、避難所が過密状態となることを防ぐため、安全が確保できる親戚や知人家などへの避難も選択肢の1つです。台風第10号では、市内ホテルなどの宿泊施設に避難した人もおり、身の安全を確保できる場所を改めて考える必要があります。